

新名阿津子

NIINA, Atsuko



准教授

所属…環境学部 環境学科
大学院 環境経営研究科 環境学専攻

niina@kankyo-u.ac.jp

■ **主な担当科目** 環境学フィールド演習、人文地理学、自然環境と文化、エコツーリズム論、都市地理学特論ほか

■ **研究者略歴**

2002 (平成14) 年11月	筑波大学第二学群比較文化学類卒業
2009 (平成21) 年 5月	筑波大学大学院生命環境科学研究科地球環境科学専攻 (一貫制博士課程) 修了 博士 (理学)
2009 (平成21) 年12月	財団法人とっとり地域連携・総合研究センター研究員
2012 (平成24) 年 4月	鳥取環境大学地域イノベーション研究センター講師
2014 (平成26) 年 4月	鳥取環境大学地域イノベーション研究センター准教授
2015 (平成27) 年 4月	公立鳥取環境大学環境学部環境学科 准教授
2016 (平成28) 年 4月	公立鳥取環境大学大学院環境経営研究科環境学専攻准教授

■ **取得学位** 博士 (理学) (筑波大学)

■ **専門分野** 人文地理学 (都市, 経済, 観光), 地誌学

■ **現在の研究テーマ** ・ ジオパーク ・ ジオツーリズム
・ 事業所サービス業の東京一極集中 ・ 中心商業地の変容と消費者行動の変化

■ **所属学会** 日本地理学会, 経済地理学会, 日本都市地理学会, 地理空間学会, 鳥取地学会

■ **研究等活動**

【著書】

- ・ 目代邦康・ 袖洞一央・ 新名阿津子編著, 2015『シリーズ大地の公園 中部・近畿・中国・四国のジオパーク』古今書院.
- ・ 新名阿津子 2015. ジオツーリズムの見方・考え方, 菊池俊夫・有馬貴之編著『よくわかる観光学2 自然ツーリズム学』82-92. 朝倉書店.

【論文】

- ・ 新名阿津子・ 松原典孝 2016. ジオパークにおける大学・博物館の役割—山陰海岸ジオパークとレスポスジオパークを事例に—, 地学雑誌125(6):841-855.
- ・ 新名阿津子 2015. ジオパークの活動—山陰海岸とレスポスを事例に—, 地理の研究193: 9-18
- ・ 袖洞一央・ 新名阿津子・ 梶原宏之・ 目代邦康 2014. ジオパーク活動における地理学的視点の役割, E-Journal GEO 9(1): 13-25.
- ・ 新名阿津子 2013. ジオパークとジオツーリズム, 鳥取地学会誌17:3-10.
- ・ 新名阿津子 2009. 山梨県における経営コンサルティングサービスの供給者特性—「中小企業向け公的経営指導・支援機関」と小規模ビジネスサービス業の連携に着目して—, 経済地理学年報55: 99-120.
- ・ 新名阿津子 2006. 東京都港区における経営コンサルタント企業の立地特性とその要因, 地理学評論79: .423-434
- ・ 新名阿津子・ 原田典子・ 田上健一・ 小林達也 2006. 茂原市における中心商店街活性化への課題, 地域研究年報28: .25-60

【報告書】

- ・ 新名阿津子 2015. 鳥取環境大学におけるジオパークを活用した教育実践. 2014年度地域イノベーション研究: 22-31.
- ・ 新名阿津子 2014. 地域と大学をつなぐフィールドとしての山陰海岸ジオパーク. 2013年度地域イノベーション研究: 28-36.
- ・ 新名阿津子 2012. 山陰海岸ジオパークにおけるジオガイドネットワークの構築とその広域化. TORCレポート35: 82-96.
- ・ 新名阿津子 2011. ジオパークに関する活動報告. TORCレポート34: pp.191-199.
- ・ 新名阿津子 2010. ジオパークに関する調査報告—山陰海岸ジオパークの世界ジオパークネットワーク加盟に向けて—. TORCレポート33: 85-103.

■ **社会貢献活動**

- ・ ユネスコ世界ジオパーク現地審査員
- ・ 日本ジオパークネットワーク現地審査員
- ・ 日本地理学会ジオパーク対応委員会 委員
- ・ 山陰海岸ジオパーク推進協議会学術部会 委員
- ・ 山陰海岸ジオパーク推進協議会学術部会鳥取分会 委員
- ・ 山陰海岸ジオパーク推進協議会地域産業部会 委員
- ・ 一般財団法人とっとり県民活動活性化センター 理事